

11. 性質別歳出決算の推移

義務的経費は、前年度に比べて約2億7千万円の減となった。これは扶助費の減と人件費及び公債費の増との相殺減によるものである。投資的経費は、約2億6千万円の減で、その他の経費は、積立金の増等により約37億1千万円の増となった。

義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は、過去10年間は400億円台で推移している。平成18年度も前年度に比べて約2億7千万円の減で約452億1千万円であった。構成比については、歳出合計額が増加したことにより2.5ポイントの減となった。

投資的経費は、つくばエクスプレス浅草駅自転車駐車場の整備終了などにより、前年度と比べて約2億6千万円の減であった。構成比は0.5ポイントの減で、過去10年間で最低の5.2%となった。

その他の経費は、積立金の増や他会計への繰出金の増などにより、対前年度比約37億1千万円の増、構成比は3ポイントの増となった。

性質別決算額

単位：百万円

区 分	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
義務的経費	42,557	43,240	44,912	43,949	44,107	43,645	43,460	45,408	45,477	45,206
人件費	17,383	16,904	17,579	19,261	19,113	17,804	17,190	17,158	16,696	16,848
（うち職員給）	12,401	12,329	12,313	13,397	13,076	12,512	12,021	11,642	11,397	11,154
扶助費	20,242	21,180	22,041	20,223	20,495	21,161	21,560	23,645	23,759	23,229
公債費	4,932	5,156	5,291	4,465	4,499	4,680	4,709	4,605	5,022	5,129
投資的経費	8,026	8,881	12,096	12,244	10,987	8,588	6,112	4,549	4,608	4,350
その他の経費	29,763	31,025	32,221	29,617	29,150	29,538	30,672	29,619	30,840	34,552
物件費	12,887	12,979	13,117	11,491	11,475	11,159	10,933	10,471	10,439	10,731
補助費等	5,923	5,986	6,182	5,661	5,532	5,541	5,686	5,299	5,496	5,924
繰出金	3,380	3,272	4,004	7,751	7,143	7,694	8,774	8,409	8,663	9,500
その他	7,573	8,787	8,918	4,714	5,000	5,144	5,279	5,440	6,242	8,397
歳出合計	80,345	83,146	89,230	85,810	84,244	81,771	80,244	79,576	80,926	84,108

その他の経費のその他は、維持補修費・積立金・投資及び出資金・貸付金である。

性質別歳出決算の推移(構成比)

